

# 歩行空間ナビゲーションデータプラットフォーム (ほこナビDP) について

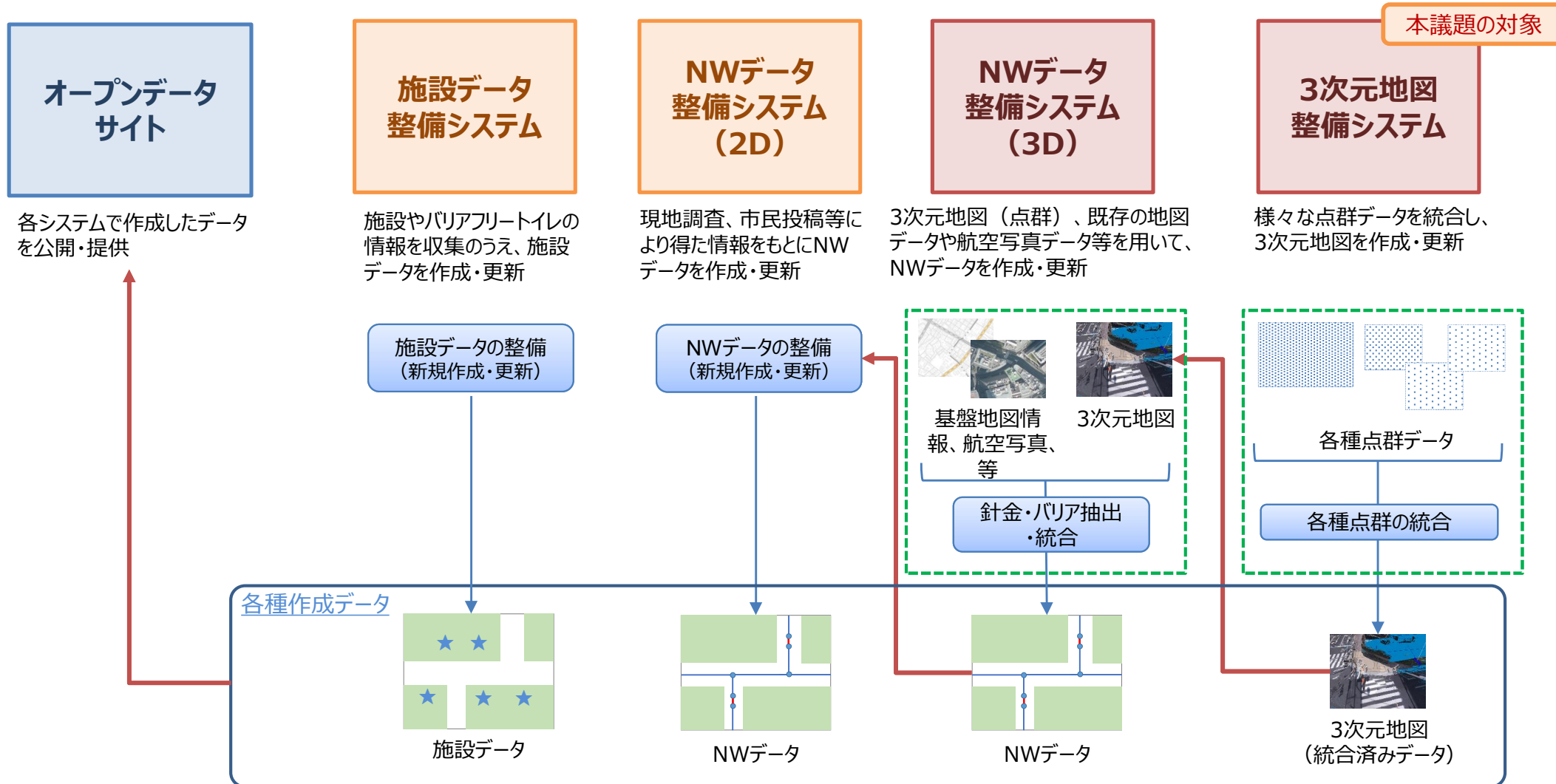
---

令和6年1月  
政策統括官付

# ほこナビDPの構成



ほこナビDPは、歩行空間ネットワークデータ（NWデータ）、施設データおよび3次元地図を整備するシステムで構成予定。3次元地図整備システムで統合処理されたデータは、NWデータ整備システム（3D）でも活用できるように構成し、プログラム処理によりNWデータを整備する際のエレメントデータとしても用いる。また、NWデータ整備システム（3D）で作成されたNWデータは、NWデータ整備システム（2D）でも活用できるように構成し、適宜更新を実施できるようにする。



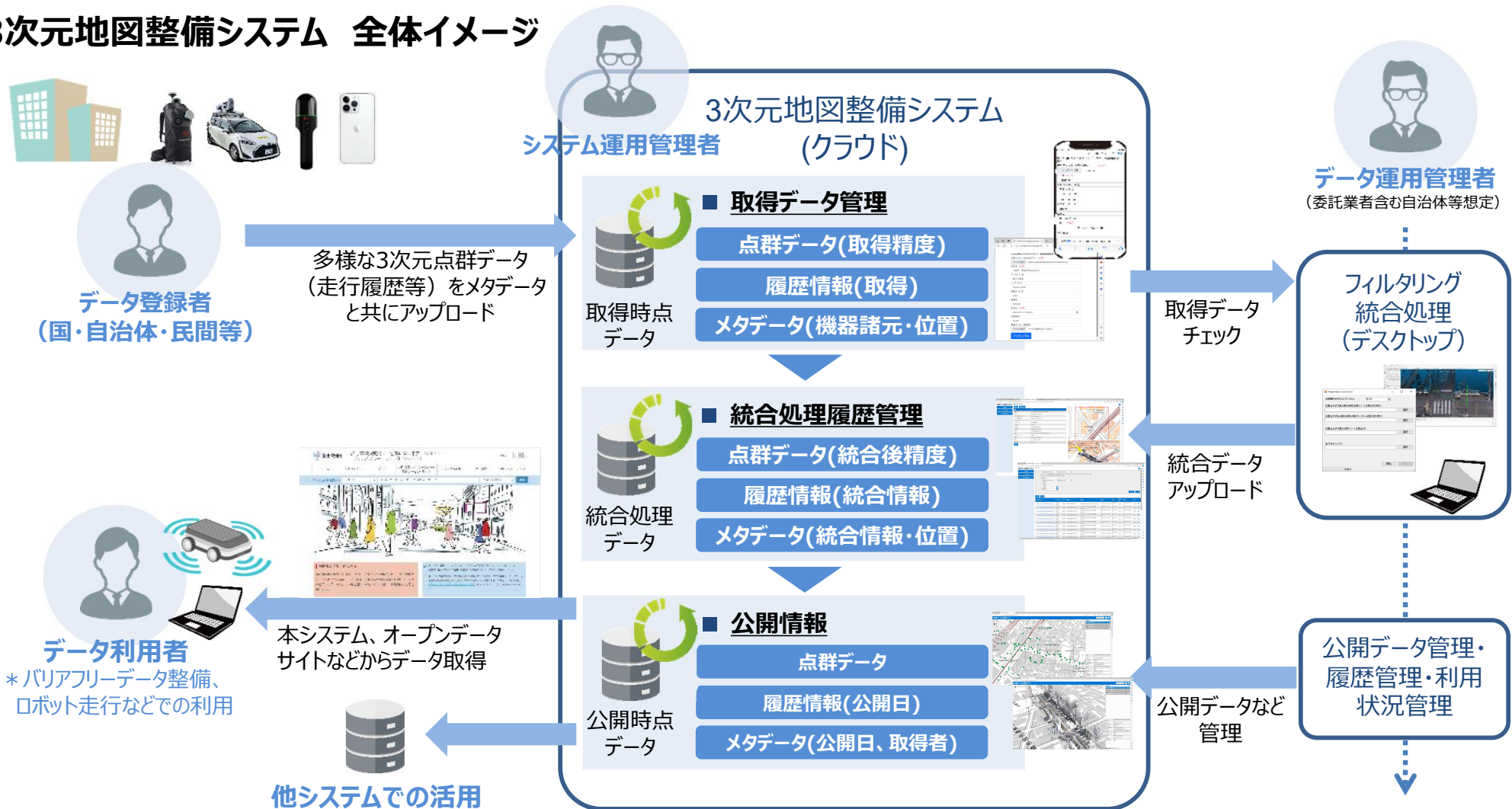
プログラム処理でデータを作成の上、必要に応じて手動操作によるデータの編集を実施する。

# 3次元地図整備システムについて

## <背景・目的>

3次元点群データは、歩行空間の段差や勾配などのバリア情報の抽出や、自動配送ロボットのベースマップ活用に寄与できる可能性がある。NWデータの効率的な整備を通じて人・ロボットなどの移動支援に活用するため、多様な3次元点群データを取り込み・統合し、オープンデータとして管理する仕組みを検討のうえ、プロトタイプシステムを構築する。

## 3次元地図整備システム 全体イメージ



\* NWデータ整備システム (3D) のバリア抽出のためのデータ提供など

# 3次元地図整備システム紹介動画

3次元点群データを管理する3次元地図整備システムは「取得データ管理機能」、「統合処理履歴管理機能」、「公開機能」で構成しており、主な機能を紹介します。（動画）

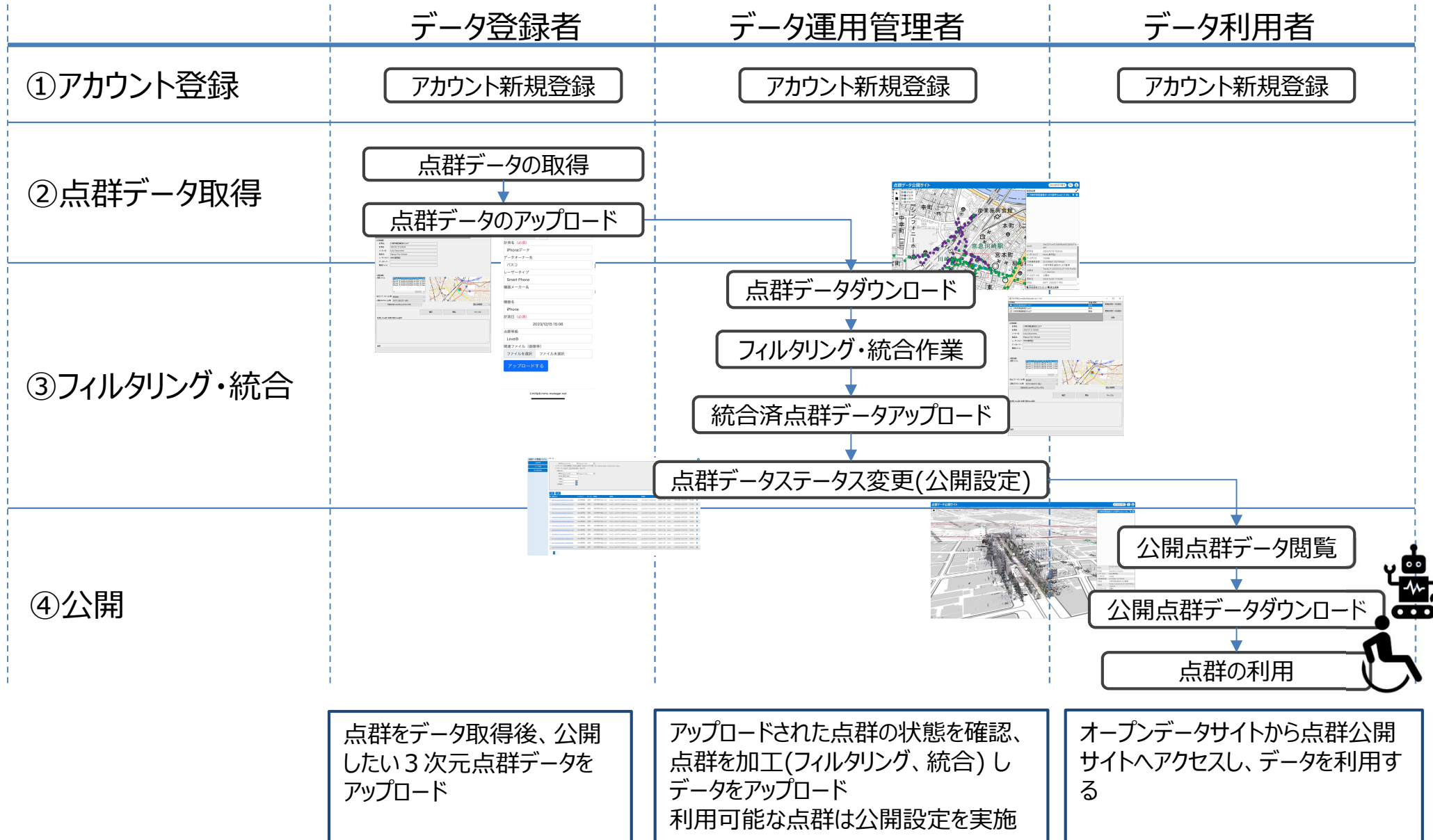
## 歩行空間ナビゲーションデータプラットフォーム（ほこナビDP）



### 3次元地図整備システム ～取得データ管理機能～

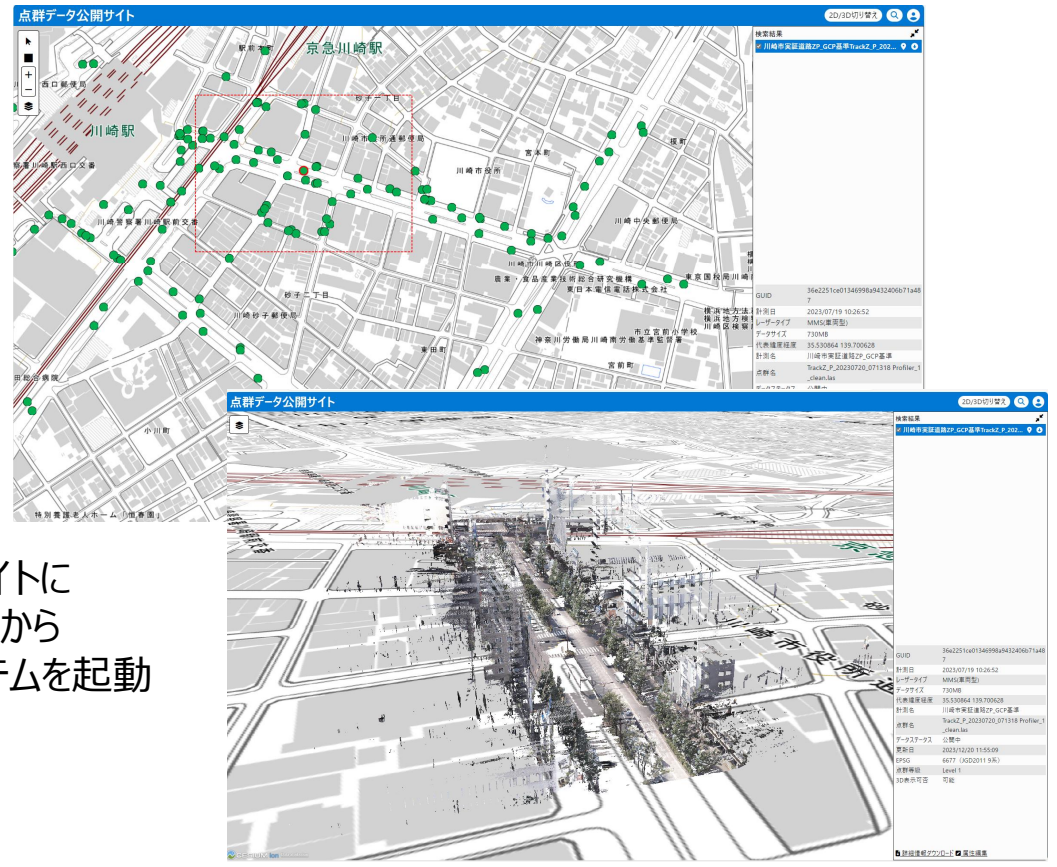
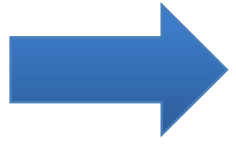
# システムの運用

3次元地図システムではデータ登録者のデータアップロードからデータ利用者のデータダウンロードまでの一連の作業を支援する。



# オープンデータサイトとの連携によるデータ公開

3次元地図整備システムで公開された3次元点群データの情報（名称、緯度経度等）をオープンデータサイトに登録。オープンデータサイトの該当データを選択することで、3次元地図整備システムを立ち上げ、3次元点群データを表示。



オープンデータサイトに登録されたリンクから3次元地図整備システムを起動

## ■ 3次元地図整備システムについて

- データ登録者がほこナビDPにデータを登録するインセンティブやデータ利用者がほこナビDPに登録されたデータを利用するにあたってのニーズとして、どのようなものが考えられるか。

## ■ その他